

平成25年度第4四半期「景気動向調査」結果報告

製造業では景気の持ち直し、非製造業では後退感に強まりが見られる

コメント: 【製造業】

売上(出荷)額において、DI値が三カ月前比では▲40.0から31.4回復し▲8.6と前期の大幅な落ち込みからの回復となり、売上増を感じている事業所が多く今後の調査が期待される結果となった。対前年比では▲36.7から56.7回復し20.0となっており前年と比較してもかなりの売上増を感じている事業所が目立った。三カ月後予測では「変わらない」との回答が多く、横ばいでの推移となった。

景況感において、三カ月前比では▲20.0から17.1回復し▲2.9と売上高同様に回復の動きに転じており、依然景気の不安定感が残るものの次期以降の調査が注目される。対前年比では▲16.7から33.8回復し17.1とこちらもかなりの回復幅であり、景気の後退感に歯止めがかかり緩やかになりつつあるが持ち直しの動きが見られる。三カ月後予測では▲6.7から1.9悪化し▲8.6と先行きは慎重な姿勢。

消費税に関する影響については、消費税増税までの駆け込み需要が去った後の消費減について心配される事業所が最も多かった。

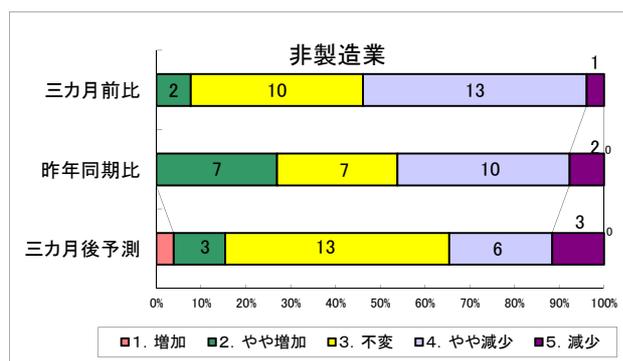
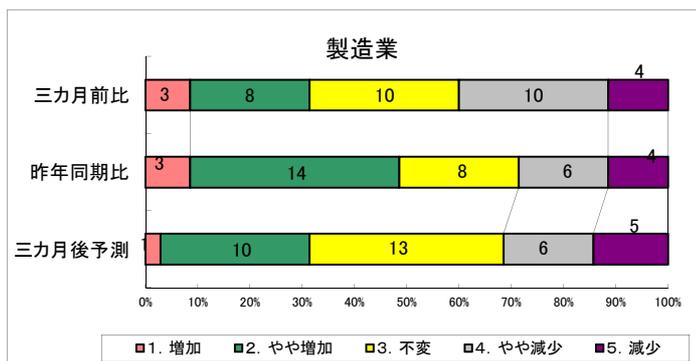
【非製造業】

売上(出荷)額において、DI値が対前年比では▲36.4から17.2回復し▲19.2と昨年比では若干の改善が見られるも、三カ月前比では、▲4.5から41.7悪化し▲46.2と逆の動きでかなりの悪化幅であり、今後景気の後退感が強まらないよう予断を許さない状況が続く。三カ月後予測では▲9.1から10.1悪化し▲19.2と厳しい見通しをされている。

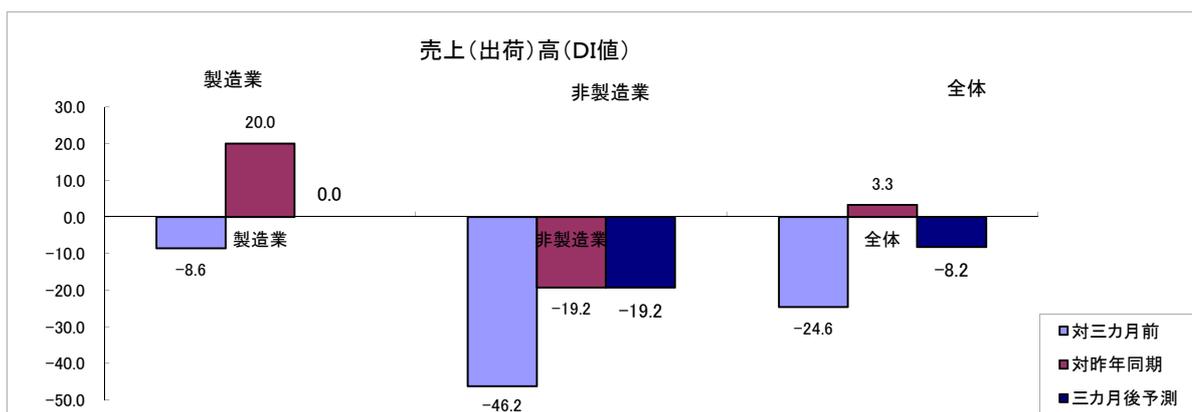
景況感において、対前年比では▲18.2から4.9悪化し▲23.1。三カ月前比では▲9.1から21.7悪化し▲30.8と下げ幅も大きくなっており、スローダウンの行方が懸念される。三カ月後予測では▲9.1から6.3悪化し▲15.4と景気の回復感には慎重な見通しをされている。

消費税増税に関する影響については、価格上昇による消費不況との回答が多く、利益の減少と答えた事業所も目立った。

1. 貴社の売上(出荷)額について



DI値	対三カ月前	対昨年同期	三カ月後予測	対三カ月前 (前回)	対昨年同期 (前回)	三カ月後予測 (前回)
製造業	-8.6	20.0	0.0	-40.0	-36.7	0.0
非製造業	-46.2	-19.2	-19.2	-4.5	-36.4	-9.1
全体	-24.6	3.3	-8.2	-25.0	-36.5	-3.8

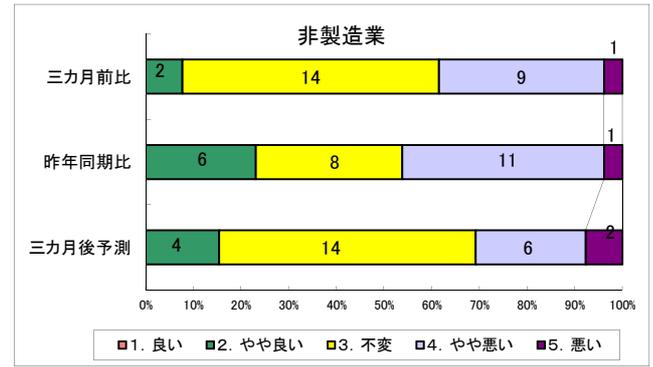
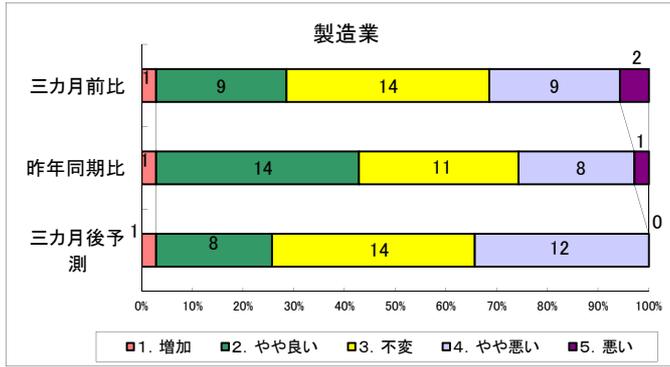


対三カ月前比において、製造業ではDI値が▲40.0から31.4回復し▲8.6と前期の大幅な落ち込みからの回復となり、売上増を感じている事業所が多く今後の調査が期待される結果となった。非製造業では▲4.5から41.7悪化し▲46.2と製造業とは逆の動きでかなりの悪化幅であり、今後景気の後退感が強まらないよう判断を許さない状況が続く。

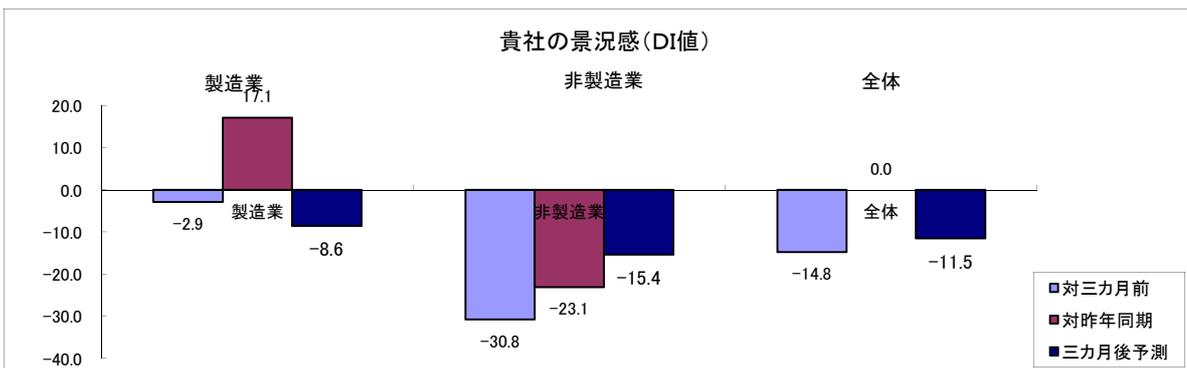
対前年比において、製造業では▲36.7から56.7回復し20.0となっており前年と比較しても今期はかなりの売上増を感じている事業所が目立った。非製造業においては、▲36.4から17.2回復し▲19.2と三カ月前比では売上減を感じている事業所が多いが、昨年比では若干改善される結果となった。製造業では回復傾向にあるものの昨年と比較しテンポは緩やかになっている。

三カ月後予測において、製造業では「変わらない」との回答が多く、横ばいでの推移となった。非製造業では▲9.1から10.1悪化し▲19.2と厳しい見通しをされている。

2. 貴社の景況感について



DI値	対三カ月前	対昨年同期	三カ月後予測	対三カ月前 (前回)	対昨年同期 (前回)	三カ月後予測 (前回)
製造業	-2.9	17.1	-8.6	-20.0	-16.7	-6.7
非製造業	-30.8	-23.1	-15.4	-9.1	-18.2	-9.1
全体	-14.8	0.0	-11.5	-15.4	-17.3	-7.7

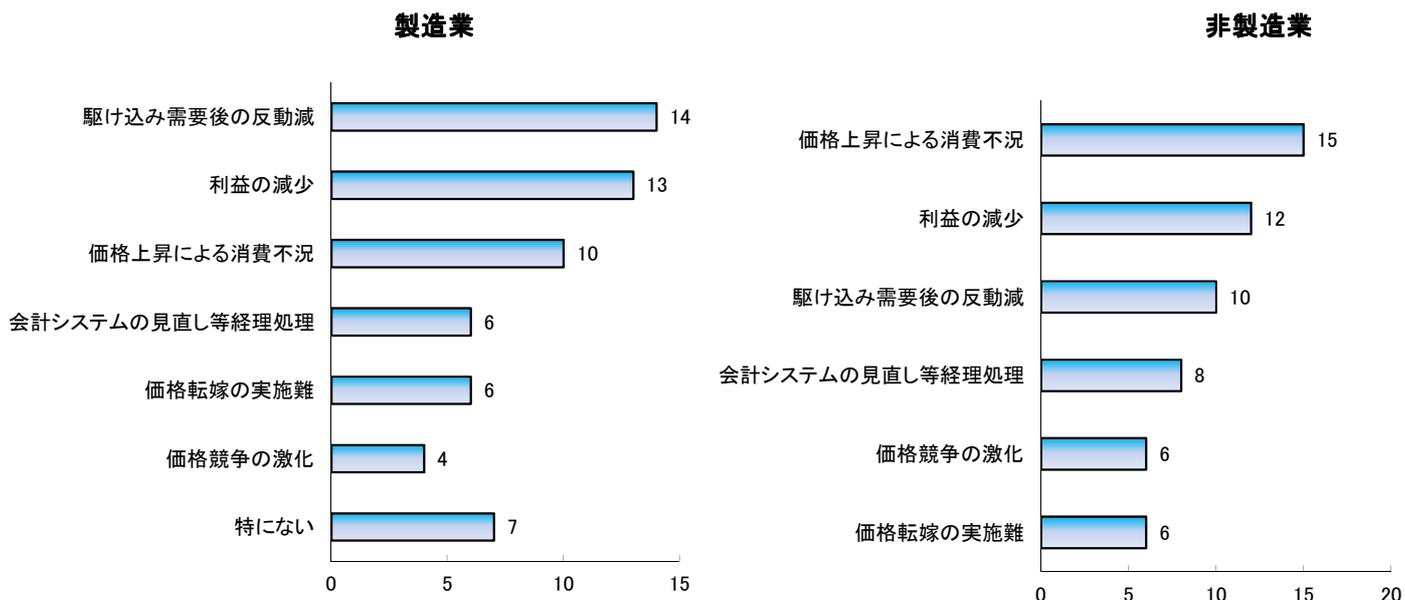


対三カ月前比において、製造業ではDI値が▲20.0から17.1回復し▲2.9と売上高同様に回復の動きに転じており、依然景気の不安定感が残るものの次期以降の調査が注目される。非製造業では▲9.1から21.7悪化し▲30.8と下げ幅も大きく、厳しい水準となっている。両業種でかなりの差が見られる。

対前年比において、製造業では▲16.7から33.8回復し17.1とこちらもかなりの回復幅であり、景気の後退感に歯止めがかかり緩やかではあるが持ち直しの動きが見られる。非製造業では▲18.2から4.9悪化し▲23.1となっており、対前年比でも下落幅は小さいが悪化に転じており、厳しい状況である。売上高同様に製造業では回復幅に減少が見られる。一方で非製造業では景気の後退感が強まりを見せる結果となった。

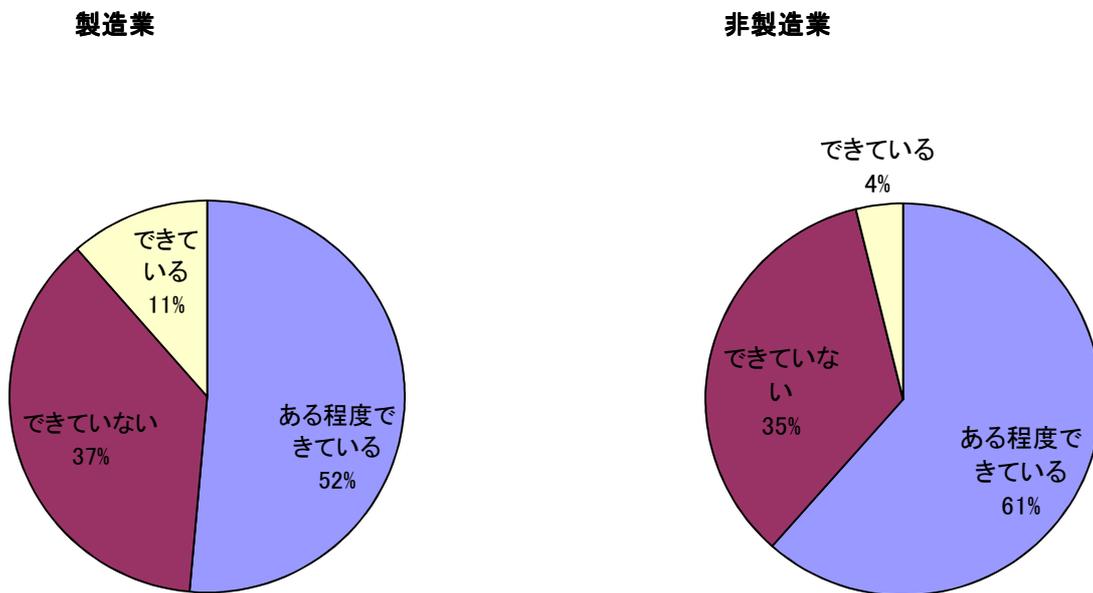
三カ月後予測において、製造業では▲6.7から1.9悪化し▲8.6。非製造業では▲9.1から6.3悪化し▲15.4と両業種ともに景気の後退感には慎重な見通しをされている。

3、平成26年4月に8%へ消費税が増税されますが貴社への影響は？（複数回答可）



製造業では、消費税増税までの駆け込み需要が去った後の消費減について心配される事業所が最も多く、非製造業では価格上昇による消費不況との回答が多かった。利益の減少と答えた事業所も目立った。

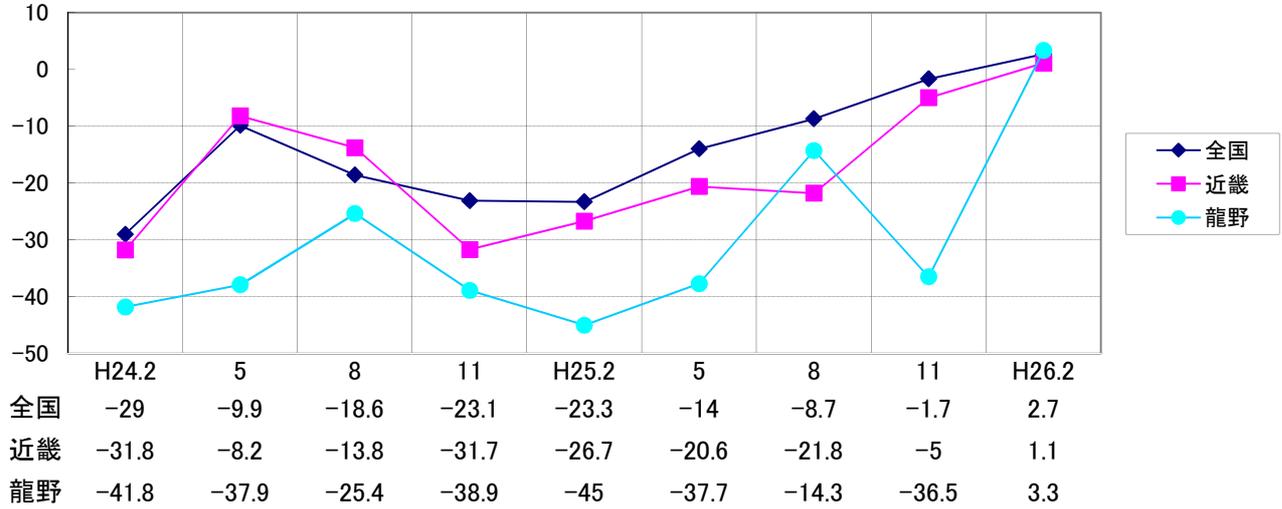
4、消費税増税による影響について対策はとれていますか？（単一回答）



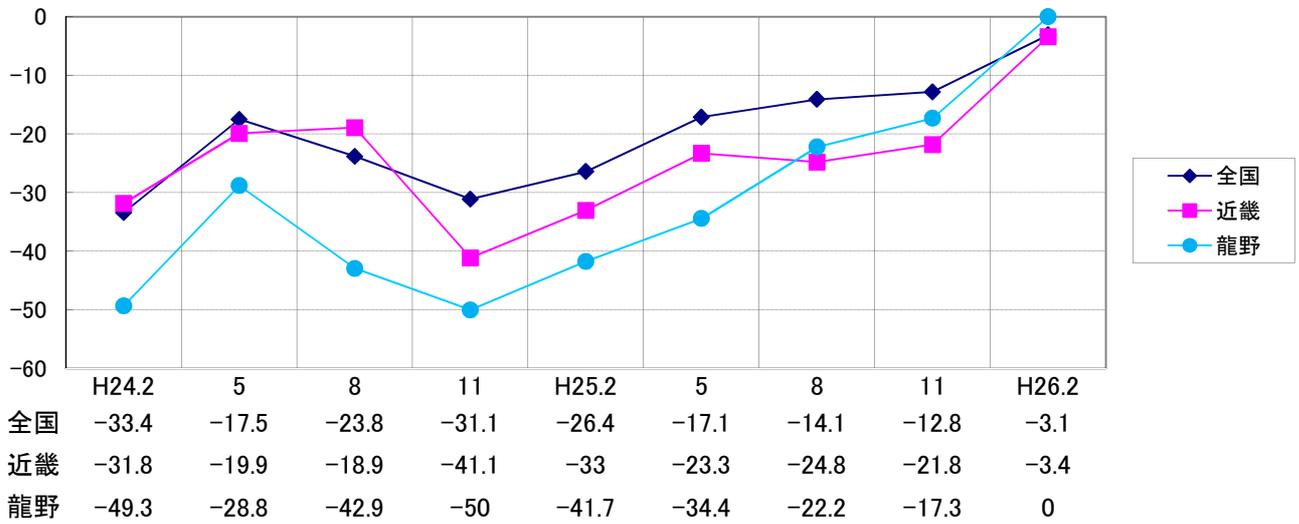
両業種とも消費税増税への対策として準備できている事業所が約6割であった。できていないと約4割の事業所が回答しており、事業所によりばらつきが見られた。

全国・近畿ブロック調査との比較

売上(出荷)額 対前年比



貴社の景況感 対前年比



全国・近畿ブロック別調査……………日本商工会議所実施のLOBO(早期景気観測)調査
 ※H26. 2の数値は1月度実施分を掲載

調査概要

1. 調査目的 四半期ごとに景気動向調査を実施し、管内景況を恒常的に把握する。
調査を実施し恒常的に管内景況を把握する。
2. 調査期間 平成26年1月30日～2月6日(基準日2月1日)
3. 調査方法 FAXIにより依頼、回答
4. 調査対象 各役員議員、部会役員 128社

※DI値＝「好調＋やや好調」(持ち直す)の回答割合から「悪い＋やや悪い」(悪化する)の回答割合を差し引いたもの。数値が高いほど景況感が良く、低いほど悪い。
プラス100が最高値、0が平均、マイナス100が最低値を示す。

5. 回答企業の属性

所属部会	対象数
一般工業	22
建設業	17
醤油工業	7
食品工業	13
皮革工業	17
公益業	17
サービス業	9
理財	8
商業	18
合計	128

調査対象	対象数	回答数	回答率
製造業	76	35	46.1%
非製造業	52	26	50.0%
合計	128	61	47.7%